

歴史と文化の足跡をたどる旅

熊野町

文化財ガイド

文化財40選

熊野町にもカワウソがいた！？

毛利元就公

菅原道真公御座石

野間さんの火の玉

熊野町に伝わる、よもやま話

熊野町にもカワウソがいた！？

毛利元就公

菅原道真公御座石

野間さんの火の玉

ACCESS MAP



【車で】
山陽自動車道広島東ICから約25分(23km)
広島高速道路、海田大橋、広島熊野道路を経由
◎東方面から
東広島呉道路黒瀬ICから約15分(9km)

【電車で】
JR呉線矢野駅で下車
(広島駅から約15分)
JR矢野駅前のバス停から
広電バスの熊野萩原行
または熊野営業所行に乗車
(矢野駅から約15分)

【バスで】
◎広島バスセンターから約45分
広電バスの熊野萩原行または
熊野営業所行に乗車
【広島空港から】
◎車で約40分

熊野町HP

町公式Instagram

マップデータ

熊野町 総務部 産業観光課

〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号

TEL (082)820-5602

2024.12

1 的場神社

【本所】菅田天皇、大山祇神
天正9年(1581年)押込村から移住してきた梶山新左衛門が、梶山北側の山中に押込村八幡宮より神霊を勧請しました。その後元禄15年(1702年)社域が狭いので、神慮によって、現在の地、的場山に遷座したと伝えられています。

MAP 1-1-0

平谷五丁目

2 明神社(厳島神社)

【本所】市杵姫命
別名厳島神社と呼ばれ、宮島の厳島神社と祭神は同じです。平谷の庄屋、休氏がその宅地の裏側に建てたのがはじまりと伝えられています。その後管理する者がいなくなり、現在の地に遷したとされています。

MAP 1-1-0

平谷一丁目8番付近

3 釈迦堂

【本所】釈迦如来
享保5年(1720年)に建立され、本尊の釈迦如来像は行基作と伝えられています。安永4年(1775年)、堂の修理を行ったとき経石が出土したと伝えられ、再び埋め戻して、堂の横にある石碑を建立したといわれています。

MAP 2-0

川角二丁目15番18号

4 貴船神社

【本所】菅田天皇(応神天皇)、仁徳天皇、高麗神
鎮座の時代は不明です。萬次4年(1661年)秋の大洪水により、神霊、神殿共に押込境まで流されました。寛永3年(1663年)水害を避けるため同年9月に貴船山に転遷しました。

MAP 2-0

川角二丁目8番付近

5 皇帝神社

【本所】皇帝神
神社の創立は不明ですが、この地区の字を皇帝神と呼ぶことから、古くからある神社が現れていると考えられます。現在はお産や授乳の神様として広く信仰を集めています。

MAP 2-0

呉地三丁目19番付近

6 姫白観音(炭谷神社)

【本所】天地元祖皇子太神
呉地区と苗代町の境付近にあり、炭谷のすぐ下に祭られています。蛇にまつわる伝説なども残っていますが、縁起など詳しいことはよくわかっていません。

MAP 2-0

呉地地区

7 砂子橋

【本所】昔「砂(いさご)」という女が生活の苦しさから、この橋の下に子供を捨てたと伝えられています。子供は無心に橋の下で泣き、その切ない声は村人の心を痛く打ち、いつの頃からかその橋を「いさご橋」と呼ぶようになったとされています。

MAP 2-0

呉地地区

8 竜跡墓

【本所】熊野町の軍文化の礎を築いた一人の孫兵田三郎のお墓です。竜跡とは石碑やお墓等の台座に使われるもので、かつて中国の皇帝が位の高い家来に亀跡を使うことを許可していたことが日本に伝わり、大名などのお墓に使われていたようです。これは中国古来の玄武に由来するといわれています。文化的背景及び造形の素晴らしさを熊野町の重要文化財に指定されています。

MAP 2-0

呉地四丁目付近

9 岸田八幡宮

【本所】帯中津日子神、品陀和気神、息長帯比売神
応永3年(1396年)紀伊の国室郡より勧請されたと伝えられています。また一説では天授年間(1375年頃)土岐家の落武者が紀州から熊野速玉神社の神霊をこの地に勧請したとも伝えられています。大干ばつの時に雨乞祭を行い慈雨に恵まれたことから尊崇が高まったとされています。

MAP 2-0

呉地二丁目10番付近

10 阿弥陀堂(梅枝堂)

【本所】阿弥陀如来
創立は不明ですが、岸田八幡宮付近にあつたものを移築したものと伝えられています。明治初期頃までは独立した神社となっていました。明治37年(1905年)に梅枝堂と改称し、後に石壁山光教坊となったといわれています。現在の御堂は明治33年(1900年)再建されたものです。

MAP 2-0

呉地一丁目17番付近

11 石壁山観音堂

【本所】大権現
石壁山(531m)は鎌倉時代から霊山として信仰されてきたと伝わり、山頂付近に石壁観音(かけかんのん)や身代わり大師があり、山中には乳地蔵のお地藏様なども見られます。全山で50余体の神仏が祀られ安芸の国、32番の観音札所とも伝えられています。

MAP 3-0

中溝五丁目1番13号

12 大蔵神社(大年神社)

【本所】大年神、大國主命
享保6年(1721年)に創立され、現在の拝殿は文久(1864年)に建立されたと伝えられています。並んで鎮座されているのは愛宕神社です。この神社の前庭は、出来庭の庭廻りが行われていました。

MAP 2-0

出来庭七丁目20番付近

13 佐太夫神社

【本所】佐太夫
およそ300年前、佐太夫という人がおり、村人に大変慕われていましたが庄屋に妬まれ殺されてしまいました。その祟りから村人が苦しむ中、虫が湧いて福も年も馬も死んでしまったそうです。その佐太夫を祀った神社です。

MAP 2-0

出来庭七丁目20番付近

14 榊山神社

【本所】帯中津日子神、品陀和気神、息長帯比売神
神社の鎮座は承平3年(933年)と伝えられています。福岡の宇佐八幡宮から勧請された古社です。1715年の火災のためその縁起を正確に知る事はできません。規模もさることながら多くの伝承も残っており熊野町を代表する文化財と言えます。

MAP 2-0

中溝五丁目1番13号

15 諏訪神社

【本所】建御名方神
長禄元年(1457年)信州の諏訪大明神より勧請されたと伝えられています。明治初期頃までは独立した神社となっていました。明治37年(1905年)に榊山神社の境内に編入され、昭和41年(1966年)に周辺工事に伴い現在の地に転遷しました。

MAP 2-0

中溝五丁目1番13号

16 熊野本宮社

【本所】伊邪那岐大神、伊邪那美大神
養和元年(1181年)紀州の熊野大権現から勧請されました。伝説によると1800年頃、火縄を加えた鶴が神殿へ飛び込み、神殿が焼失したと伝えられています。現在の神殿は、宝暦7年(1757年)、拝殿は大正4年(1915年)の再建によるものです。

MAP 2-0

中溝五丁目1番13号

17 稲荷神社

【本所】宇迦御魂命
お稲荷さんで親しまれている当社は、その名の通り稲に関する神様です。そもそも稲とは「命の根」を意味します。その稲が生るという、ということから、お稲荷様と名づけられました。また、お稲荷様を象徴する穀物霊神、農業と深く関係する神様とされています。また、商売の神様としても崇められています。

MAP 2-0

中溝三丁目9番付近

18 西光寺

【本所】阿弥陀如来
芸濃通史によると開基は慶長6年(1601年)とあります。しかし天明年間(1781年~89年)と昭和11年(1936年)の2回火災にあい、伝来の古文書も多くを焼失し詳しいことはわかっていません。現在の建物は昭和12年に再建されたものです。

MAP 2-0

中溝四丁目19番4号

19 光教坊

【本所】阿弥陀如来
鎌倉時代に石壁山に真言宗の寺として開基したとされています。宮大工の平木清次郎氏が建てた重厚で立派な建物です。現在では熊野町郷土館として熊野町山光教坊となったといわれています。現在の本堂は1827年に再建されたものです。

MAP 2-0

中溝四丁目16番5号

20 郷土館

【本所】郷土館
大正初期に町の中心街で栄えた造り酒屋の建物です。宮大工の平木清次郎氏が建てた重厚で立派な建物です。現在では熊野町郷土館として熊野町山光教坊となったといわれています。現在の本堂は1827年に再建されたものです。

MAP 2-0

中溝三丁目12番26号

21 鬼瓦

【本所】天保3年(1832年)沼田郡江波村の横松五郎平次郎の作で高さ1.5mを超える大きな鬼瓦です。現在では幻の瓦といわれる江波瓦です。銘文もはっきり読み取ることが出来ます。◎光教坊、◎郷土館でその姿を間近で見ることが出来ます。

MAP 2-0

中溝三丁目12番26号

22 牛神社

【本所】創立は不明です。牛神社は町内にいくつもあり、もともと牛は農耕には欠かせない動物であり、農家にとっては家宝という様子が、文化4年(1808年)の銘のある神鏡と年代のわからぬ木造が安置してあります。

MAP 2-0

萩原一丁目6番付近

23 胡子神社

【本所】事代主神
享保6年(1721年)の創立と伝えられています。毎年11月に行われる胡子講祭りの祭神であり、以前はこの神社も多くの人で賑わっていました。

MAP 2-0

中溝四丁目1番8号

24 小倉神社(十王神社)

【本所】岡象女神
享保3年(1718年)の創立と伝えられており、十王さん、城(しろ)さんとも呼ばれています。祭神は火を鎮める水神にして豊稷をもたらす農耕神です。この地区には神楽会があり、境内の神楽殿で稽古をしています。近くには石灯籠の痕跡が残る「天満宮山」や初神(重)天満宮が密やかに守り継がれています。

MAP 2-0

城之堀二丁目12番付近

25 ゆるぎ岩

【本所】ゆるぎ岩
ゆるぎ岩の南側にあり、善人が押すと揺れるといわれています。現在でも直接揺らすことができます。押し方や揺らす場所によっては片手で揺らすことができるそうです。

MAP 2-0

中溝五丁目付近

26 ゆるぎ観音

【本所】観世音菩薩
寛政2年(1866年)にお堂を建て観世音菩薩を祭ったと伝えられています。この観音堂を中心に30体余りの産霊仏が彫られています。

MAP 2-0

中溝五丁目付近

27 城之堀不動堂(出不動)

【本所】不動明王
創立は不明ですが、文化3年(1807年)に堂を再建したという様子が、文化4年(1808年)の銘のある神鏡と年代のわからぬ木造が安置してあります。

MAP 2-0

城之堀8218-5

28 そら不動(奥不動)

【本所】不動明王
(城之堀)不動堂から500m程登ったところに祀られています。数百年もあろうかと思われる巨石の下にあります。そこからは清水が流れ出ています。起源はよくわかっていません。

MAP 2-0

城之堀8218-5付近

29 豊橋稲荷

【本所】保食神
神社の創立は不明です。推定して享保年間(1716~36年)とされています。この地域の字は「稲荷」といいます。町内には「稲荷の谷」と呼ばれており、付近には「きつね塚」「きつね塚」等の地名もあり、これが由来ではないかとされています。

MAP 2-0

城之堀八丁目1番

30 龍王神社(萩原神社)

【本所】瀬波能売神
祭神は、日本における代表的な水の神様で、美しい乙女姿をされています。現在でも直接揺らすことができます。押し方や揺らす場所によっては片手で揺らすことができるそうです。

MAP 3-0

萩原五丁目11番付近

31 龍王神社奥之院

【本所】瀬波能売神
元和元年頃(1615年)に山麓の川にあった3mくらいの長い石が御神体であることを神示により知らされ龍王神社として祭られたと伝えられています。この石が「夜泣き石」と伝えられています。

MAP 3-0

萩原四丁目

32 土岐神社(小倉大明神)

【本所】岡象女神
創立は享保5年(1720年)と伝えられています。各段2個の自然石を並べて小石で縁取り、幅1mほどの石段を上ると、正面の石垣上に「小倉大明神」の祠がたっています。祭神は、鶴退治で名を馳せた源頼朝の側室「盲白の前」で、西条原村大谷の小倉大明神から分祀したとも伝わっています。

MAP 3-0

萩原 庄賀地

33 薬師堂

【本所】薬師如来
永正11年(1514年)に建立され、本尊の瑠璃光佛薬師如来像は行基菩薩の作と伝えられています。その後戦乱により現在の位置に転遷しました。仏像は一度盗難にあった現在のものは寛政元年(1780~1800年)に新しく作られたそうです。

MAP 3-0

初神二丁目21番4号

34 菅原道真公 御座石

【本所】菅原道真公
菅原道真公が延喜元年(901年)京を逃れ、大阪・瀬戸内の各地を転々となし、大宰府を目指し途中、安芸津から黒瀬を渡り、初神の三谷へ入山され、休息のために御座された石と伝わっています。近くには石灯籠の痕跡が残る「天満宮山」や初神(重)天満宮が密やかに守り継がれています。

MAP 2-0

初神地区

35 若宮神社

【本所】少名彦神
初神地区の宮として古くから祭られていて、鎮座は享保6年(1721年)と伝えられています。神社の右側に奥の宮の神様が祀られています。神社が祀られている場所には、現在に至っています。榊森神社も古くはこの境内にあったといわれています。

MAP 3-0

初神一丁目14番付近

36 牛神社

【本所】創立は不明ですが、ご神体は牛の角であり牛が祭られています。かつて秋の彼岸の中日には坂や瀬戸の方から約80頭の牛が集まったといわれています。

MAP 4-0

新宮四丁目20番付近

37 榊森神社

【本所】速玉男神、菊理姫神、事解男神
現在の地に転遷してきたのは嘉元元年(1303~5年)。創立はそれ以前と伝えられています。この神社には、大釜の熱湯を「どじょう」の入ったに注ぎ神に奉納するとともに、宮司によって湯満を参拝者に振りかけるという儀式も行われています。

MAP 4-0

新宮八丁目601-2

38 重林寺観音堂

【本所】観音菩薩
もとは真言宗のお寺であり、その歴史も1,000年以上と伝えられています。現在の観音堂は廃寺となった後、近年に建て替えられたものです。

MAP 4-0

新宮六丁目付近

39 毘沙門堂

【本所】毘沙門天
昔は、新宮区全域の宮として、盛大に祭が行われていたと伝えられています。明治維新の時、仏法として神道から分かれ現在に至っています。榊森神社も古くはこの境内にあったといわれています。

MAP 4-0

新宮地区

40 海上側古墳(五輪塔)

【本所】古墳
新宮地区には五輪塔がいくつか存在しています。一説には、近くの山域の武士の墓と伝えられています。いくつもある五輪塔の一つから古墳前庭の骨つぼが発見され、年代は室町時代後期であろうと推定されています。

MAP 4-0

新宮六丁目付近